

2023年、今年を「観光V字回復の年」に

外資OTAトップ座談会

パンデミックを乗り越え 世界で旅行需要が回復



エクスペディア 山崎 美穂 氏



アゴダ 大尾嘉 宏人 氏

日本の出入国における水際対策は2022年10月11日に緩和された。その後、インバウンド客数は徐々に回復している。グローバルOTAのインバウンド誘客に対する期待は、コロナ前に増して高まっている。世界四大OTAの日本市場トップに各社の世界戦略と日本戦略を聞いた。

(22年11月25日、東京、日本橋のロイヤルパークホテルで)

2022年とはどんな年だったか。簡単な自己紹介と合わせて話してほしい。トリップ・ドットコムは勝瀬さん。勝瀬 17年間の米国でのITサテライトエンジニア、ベンチャーキャピタル、ヘルスケア業界から旅行業界に転身して8年目になる。2年前からトリップ・ドットコムの日本代表を務めている。22年はコロナ禍で受けた大きな痛手から徐々に立ち上がり、10月11日から水際対策緩和で大きく数字を伸ばすことができた。22年、私たちは今まで取り組んできた三つのことにより、インバウンド客数を回復させることに成功した。一つ目はモバイルアプリに力を入れた。二つ目はモバイルアプリの認知度を向上させた。三つ目は検索結果表示を再構築した。山崎氏は、検索結果表示を再構築したことで、モバイルアプリの認知度を向上させた。三つ目は検索結果表示を再構築した。山崎氏は、検索結果表示を再構築したことで、モバイルアプリの認知度を向上させた。

テレビCMで認知度向上 大尾嘉氏

検索結果表示を再構築 山崎氏

モバイルファースト徹底 勝瀬氏

サステナブルトラベル推進 竹村氏

また、中国国内ではモバイルが非常に進んでいる。中国で作られるスマートフォンは年間1億台で、国内向け出荷分のほとんどは私たちのスマートフォンが占めている。アゴダは、モバイルファーストの方向に進んでいる。また、中国国内ではモバイルが非常に進んでいる。中国で作られるスマートフォンは年間1億台で、国内向け出荷分のほとんどは私たちのスマートフォンが占めている。アゴダは、モバイルファーストの方向に進んでいる。また、中国国内ではモバイルが非常に進んでいる。中国で作られるスマートフォンは年間1億台で、国内向け出荷分のほとんどは私たちのスマートフォンが占めている。アゴダは、モバイルファーストの方向に進んでいる。

出席者(順不同)
山崎美穂氏
竹村章美氏
勝瀬博則氏
大尾嘉宏人氏
司会=本社企画推進部長 江口英一

expedia group
Powering travel for everyone, everywhere - together
旅の力で世界と人々をつなげる